

平成二十一年度 秋季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「秋」

期間 平成二十一年八月一日～平成二十一年十月末

投句数 一、七一八句

特選三句

天

箒目に色をこぼして萩の花

神奈川県横須賀市

山口義一

地

大安や石段昇る七五三

神奈川県横浜市港北区

鈴木基之

人

秋茄子の紫紺も深き朝の膳

千葉県船橋市

前原慶輔

入選句

一般の部

秋分に香聞きにけり佛の間

神奈川県横浜市栄区

葭谷健一

秋立つや古刹に確と箒の目

東京都板橋区

若林喜美夫

流鏝馬に出合ふ鎌倉秋日和

神奈川県横浜市緑区

伊藤とく

秋うらら花嫁のくる段葛

東京都世田谷区

堀井より子

秋惜しむ虚子の鎌倉文墨祭

東京都葛飾区

飯嶋芳江

野紺菊雨の明るき瑞泉寺

兵庫県姫路市

小坂佐紀子

五線譜に綴ってみようか虫の声

東京都千代田区

後藤千慧

秋の暮御堂に点す僧一人

神奈川県横浜市青葉区

寺橋正光

蛸や大梵鐘のゆるぎなし

長崎県諫早市

麻生勝行

蝉しぐれ露座の大佛つゝみけり

神奈川県横浜市泉区

出射恵美子

小津映画しのぶ鎌倉秋日和

神奈川県鎌倉市

土山忠滋

銭洗ふ弁財天の水澄めり

神奈川県横浜市泉区

桑谷京子

名月を波に浮かべて由比ヶ浜

神奈川県横浜市青葉区

山下省三

御墓前の供華美しく秋闌くる

神奈川県茅ヶ崎市

江崎日都子

鎌倉の真中にいて鰯雲

神奈川県横浜市金沢区

大井実

頑張らぬ余生でよろし吾亦紅

神奈川県横浜市南区

中村重次郎

また来たよ語りかけつゝ墓洗ふ

東京都世田谷区

大津三典

秋入日切絵のごとき影の富士

東京都杉並区

稲垣克巳

風吹けば吹かるるままに大花野

東京都練馬区

勝田剛史

杖引いて鎌倉の秋惜しみけり

京都府京都市下京区

今井浄子

(順不同)

入選句

子どもの部

ひがん花政子の墓をかぎっている

東京都町田市

和田萌花

鎌倉の紅葉やすすききれいだな

神奈川県横須賀市

吉岡拓司

流れ星夜空に光る宝石だ

神奈川県横浜市都筑区

山崎百華

秋の日にみんなで来たよ鎌倉に

神奈川県横浜市都筑区

伊藤彩花

秋の日に学んだことを忘れない

神奈川県横浜市都筑区

増田千紗

大仏が秋晴れの中座ってる

神奈川県横浜市都筑区

大岡俊太

かまくらは自然がいっぱい秋のかぜ

神奈川県横浜市都筑区

中井もなみ

かまくらの秋の景色にみとれてる

神奈川県横浜市都筑区

田中ひなき

大仏は秋の陽あびて堂々と

神奈川県横浜市都筑区

鳴海真祐子

赤とんぼ大仏様にこんにちは

神奈川県鎌倉市

越田健介

(順不同)